

2021 July

Bulletin



2021年8月1日 発行
第26巻 第2号
通巻286号

今月の聖句

ペトロの手紙 一 5章7節

「思い煩いは、何もかも神にお任せしなさい。神が、あなたがたのことを心にかけていてくださるからです。」



クラブ会長標語 『stay hungry ~現状に満足せず変化を楽しもう~』

国際会長 主題 “Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長 “Make a difference beyond the 100th” 「100年を超えて変革しよう」

西日本区理事 主題 Challenges for the future 未来への挑戦

京都部部長 主題 「人生は一度きり part 2」～ワイズライフで人生を謳歌しましょう！～

クラブ会長：宮田 雄輔

国際会長：Kim Sang-chae

アジア地域会長：大野 勉

西日本区理事：新山 兼司

京都部部長：中村 隆司

一年間を振り返り

京都トゥービークラブ25期会長

馬場 昭宏

一年間を振り返り、思うのはやはりコロナに振り回された一年だったと感じます。始まりは、役員研修会が開催できるのか？から始まり、第一回目の緊急事態宣言が始まつたことにより、例会の開催が出来なくなりました。それでもZOOMというツールが広まつて行き、オンラインでの例会風の集まりを開催することが出来ました。さらに、リモートが出来るようになり、普段遠くに行き来が少ない、台湾A-Lisクラブとのオンライン交流をすることが出来ました。コロナ終息後でもリモートでの交流はいいのではないかと思います。

国内では期初より YMCAの事業が軒並み中止となり、Yサ事業も出来ない中、第2回目の緊急事態宣言明けに開催された、リトセンオータムフェスタではいつもよりメンバーの集まりがよかつたように思います。EMCでは、ゲストを呼ぶこともままならない状況でしたが、嬉しいことに1名の新メンバーが加わりました。

今年一年はコロナにより、例会含め事業をやるのかやらないのか常に判断に迫られた一年だったようになります。その中でも最後に、アルコール、食事なしとなつてしましましたが、西日本区大会を開催することができたことは大変良かったと思います。

年に一度の交流の場ということで、大変多くのリモートでも対応したことで、大変多くの皆様に参加していただきましたが、至らない部分も沢山ありましたが、無事終えることが出来ました。

一年間ありがとうございました。

一年間を振り返り、思うのはやはりコロナに振り回された一年だったと感じます。始まりは、役員研修会が開催できるのか？から始まり、第一回目の緊急事態宣言が始まつたことにより、例会の開催が出来なくなりました。それでもZOOMというツールが広まつて行き、オンラインでの例会風の集まりを開催することが出来ました。さらに、リモートが出来るようになり、普段遠くに行き来が少ない、台湾A-Lisクラブとのオンライン交流をすることが出来ました。コロナ終息後でもリモートでの交流はいいのではないかと思います。

国内では期初より YMCAの事業が軒並み中止となり、Yサ事業も出来ない中、第2回目の緊急事態宣言明けに開催された、リトセンオータムフェスタではいつもよりメンバーの集まりがよかつたように思います。EMCでは、ゲストを呼ぶこともままならない状況でしたが、嬉しいことに1名の新メンバーが加わりました。

今年一年はコロナにより、例会含め事業をやるのかやらないのか常に判断に迫られた一年だったようになります。その中でも最後に、アルコール、食事なしとなつてしましましたが、西日本区大会を開催することができたことは大変良かったと思います。

年に一度の交流の場ということで、大変多くのリモートでも対応したことで、大変多くの皆様に参加していただきましたが、至らない部分も沢山ありましたが、無事終えることが出来ました。

一年間ありがとうございました。

直前期はどのような一年でしたか？また、一年をどのように思いましたか？



2020-2021 西日本区理事を振り返って

西日本区直前理事
古田裕和

期が始まる7月までに約1年近く準備期間がありました。その間に部長・主任はじめキャビネットとも十分に話し合い、打ち合わせて期に入つてこうと考えていました。当然私だけではなく各部長や主任もそれぞれの方針や事業を考えていたのですが、準備期間の後半から新型コロナ禍になりました。初めての経験のためこのウイルスがいつまで続くのか、またどのくらいの時期に収束するのかが全くわからなくなりました。

このような状況で期に入つていきましたので、とすれば西日本区全体が世の中の自肃ムードで消極的になり収束後の活動に大きなダメージを与えるかもしれない、このことを一番危惧し、クラブや部に対して、今の状況でやれることを考えて知恵を出し合い、精一杯やり抜こうと呼びかけていました。期の中盤から後半にかけて少しづつ色々な部やクラブを訪問する機会も増えてきました。しかしアジア太平洋地域を含めたZOOMミーティングの数は半端ではないくらい多かつたことが印象に残っています。

このような特殊な1年でしたがキャビネットや各主任・部長、もちろんトゥービーのメンバーにも支えられ、無事終えることができました。本当に皆さまに感謝です。

このように貴重な経験ができ、また西日本、東日本、またアジアや世界にも多くの友だちできたことは何物にも代えがたいことだつたと感謝しています。できればトゥービーのメンバーもちょっと外の景色を行くことをお勧めします。



直前理事が思う第24回西日本区大会で

「今回最も良かったこと」は何でしたか？

また、最も苦労されたこと等がありましたらお教えてください。

第24回西日本区大会をトゥービーのメンバーのおかげで開催することができましたが、どうございました。今回の西日本区大会で最も良かったこと、これは紛れもなくリアルとリモート併用でしたがリアルで会場に多くのメンバーが集まり開催できました。

前期の途中、色々な人の意見で「みんなと会いたい、会う機会がほしい」という意見が多くつたのです。それを受け期の途中に「西日本区「オーラム」を開催し多くのメンバーがリモートで久しぶりに会うことができました。この時も画面上でもあって話ができることに多くの人に喜びを感じていただいたと思います。この時から西日本区大会は絶対にリアルでという思いが大きくなりました。

その1番の願いであつたリアル開催が実現できたのですから大満足です。

残念なことに外部から色々な提言?をいただき内容が少し変わってしまいましたがそれでも大満足しています。苦労したことといえば、外部からいただいた提言に答えていくことに苦労したことくらいです。

ありがとうございました。

今期の西日本区にはどのようなことを期待されますか。

今期の西日本区は、メンバー増強を1番に推進されています。前期もメンバー増強は当然方針に入っていましたが、残念ながらうまくいきませんでした。理事とEMC主任やアドバイザーを中心に色々な策を講じられると思います。是非成功しメンバー増強が実現できることを期待します。

また2022年のワイス100周年に向かって西日本区のメンバーの思いを集結させて100周年を迎えるためのリーダーシップにも期待しています。

ワイスメンに向けて、一言ございましたらお聞かせください。

理事をさせていただくことで、多くのワイスメンと話や意見交換を行うことができました。また西日本区の各地の部やクラブの現状も知ることができました。その中で感じたことは、当たり前ですが本当に色々な考え方があるということです。ワイスのことを考えて意見を述べられていることは間違いないところです。ただ自分の意見に固執しすぎて他の人の意見を聞かないという方が時々いらっしゃるかなと思いました。自分の意見を語り合うことは大事なことです。それ以上に常に自分の頭を柔らかくして人の意見も素直に取り入れることは人の成長にとって非常に大事なことだと思います。たまにそのような人に出会ったのが残念なところでした。また西日本区の将来を考えると若いメンバーの登用も大事なことです。特に西日本区役員会を若いメンバーが牽引しているそんなことが早く実現できることを願っています。

でもこの1年間素晴らしい経験をさせていただいて改めて思うことは、ワイスメンズクラブって素晴らしいなということです。

7月第二例会は講師として牧野篤文 EMC

アドバイザーをお招きしクラブ発展の秘策を語つて頂いた。牧野氏の所属する京都トップスクラブさんは一時15名位のメンバー

数に陥っていたが現在は約4倍の60名に届く勢いである。

今回牧野氏に講演依頼をするに至った経緯は宮田会長が会長主査研修会での同氏のレクチャー内容に感銘を受け是非ともメンバーに共有しクラブ活性化に役立てたいという熱い思いからである。

さてメンバー緊張気味の中、講演が始まつた。

メンバー増強のポイントを京都トップスクラブさんの成功例、失敗例を織り交ぜ分かり易くレクチャーして頂いた。活性化＝発展とは若干ニュアンスの違いはあれどメンバー増強が必須である事は間違いない。ゲストをお誘いする為にきっかけとなる例会やイベントの大切さ。それにも増してメンバーの意識高揚が最重要課題と言える。

メンバー個々がクラブそしてワイズ活動を誇りに思い、アクションを起こせるクラブの環境作りを進める事が急務である。どれだけライフスタイルの中でワイズに掛ける優先割合を増やす事が出来るか。またメンバー同士の信頼と尊重そして思いやりを再度認識すべき時かと思う。講演の最後にクラブメンバーの段階的な成長についてのステップアップ理論のお話があつた。新入会メンバーの成長過程を図式化した資料でありクラブメンバーの構成とバランスを認識出来る。クラブビジョンを考える上で非常に役立つ資料かと感心させられた。

「トップスクラブの奇跡」ではなく新しい出会いを求め発展拡大すべく銳意努力されてきた結果で奇跡ではなく、京都トップスクラブさんは発展する明確な基盤が築かれていると痛感した次第である。今回の講演がメンバーにどの様に響いたのか。今後のトゥービークラブのメンバー増強にとって意識改革のカンフル剤となる事を信じると共に私も今一度新しい出会いを求め自分自身に喝を入れなおす機会を得る事が出来ました。牧野さん遅くまでお付き合い頂き有難う御座いました！

記：京都トゥービークラブ 小幡弘

クラブ活性化特効薬有り〼！！



第26期7月第二例会

7月28日（水）ANAクラウンプラザホテル京都

YMCA NEWS

1 京都YMCA公式YouTubeチャンネル登録、拡散のお願い

京都YMCA公式YouTubeチャンネル配信
【おすすめキャンプ飯】簡単に作れる！パスタ料理



例会出席

7月第1例会 20／35名
7月第2例会 20／35名

BF・EF・JWF

BE pt
EF pt
JWF pt

ニコニコ

7月第1例会 0円
7月第2例会 9,000円
累計 9,000円

ファンド

0円

会長 宮田 雄輔
副会長 新谷 嘉啓
書記 古田 裕和
会計 安井 基晃
青木頼一郎

クラブオフィス：京都 YMCA

住所 〒604-8083 京都府京都市中京区 三条通柳馬場東入中之町 2
電話 075-231-4388